

新たな時代に向けた教員養成の改善方策についての一考察

芦 田 哲

A Study on Remedial Measures to Improve Teacher Training for the New Age

Satoshi Ashida

豊岡短期大学 論集

第 13 号 別 冊

平成 28 年 12 月 20 日 発 行

新たな時代に向けた教員養成の改善方策についての一考察

A Study on Remedial Measures to Improve
Teacher Training for the New Age

芦 田 哲
Satoshi Ashida

はじめに

教育職員養成審議会は平成9（1997）年7月29日に新たな時代に向けた教員養成の改善方策について答申を出した。その中で教員に求められる資質能力と教職課程の役割として次のことを挙げている。

1. いつの時代も教員に求められる資質能力

「専門的職業である『教職』に対する愛着、誇り、一体感に支えられた知識、技能等の総体」といった意味内容を有するもので、「素質」とは区別され後天的に形成可能なものと解される。

2. 今後特に教員に求められる具体的資質能力

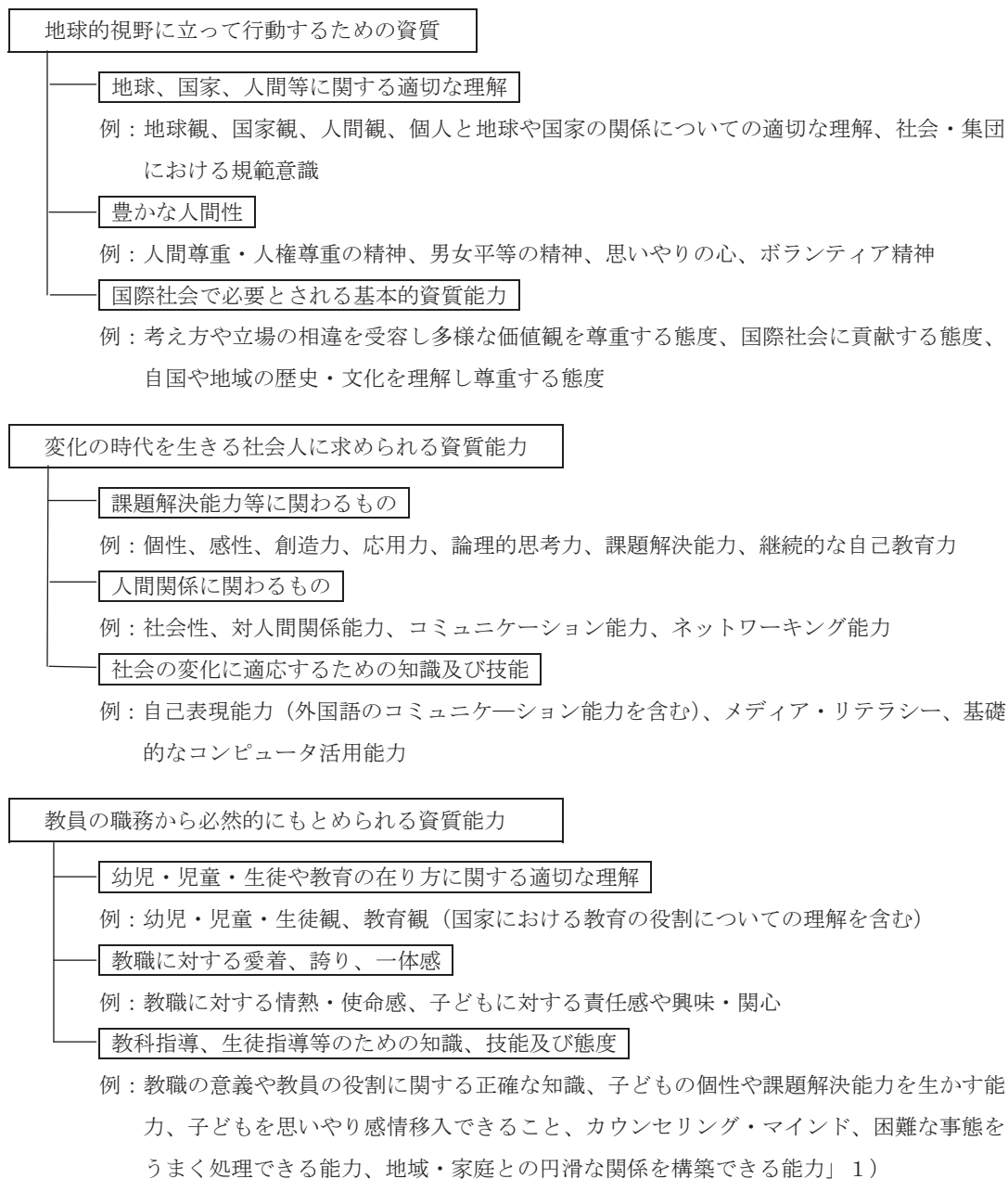
これからの教員には、変化の激しい時代にあって、子どもたちに[生きる力]を育む教育を授けることが期待される。そのような観点から、今後特に教員に求められる資質能力の具体例を、上記1に掲げた一般的資質能力との重複や事項間の若干の重複をいわず図式化して整理してみると、概ね以下の[参考図]のようになると考える。

3. 得意分野を持つ個性豊かな教員の必要性

教員には多様な資質能力が求められ、教員一人一人が最小限必要な知識、技能等を備えることが不可欠である。しかしながら、すべての教員が一律に多様な資質能力を身に付けることを期待しても、それは現実的ではない。むしろ学校では、多様な資質能力を持つ個性豊かな人材によって構成される教員集団が連携・協働することにより、学校という組織全体として充実した教育活動を展開すべきものと考えている。

教員一人一人の資質能力は決して固定的なものではなく、変化し、成長が可能なものであり、それぞれの職能、専門分野、能力・適性、興味・関心等に応じ、生涯にわたりその向上が図られる必要がある。教員としての力量の向上は、日々の教育実践や教員自身の研鑽により図られるのが基本であるが、任命権者等が行う研修もまた極めて重要であるとしている。

[[参考図] 今後特に教員に求められる具体的資質能力の例



そこで、学生がこれらの資質能力についてどのように考えているか調査し、今後の指導を考える一助としたい。

調 査 方 法

1. 調査対象

本学1年生 2年生 通信教育部スクーリング学生（専門学校生） 通信教育部スクーリング学生（専門学校生と社会人混合）

2. 調査期間

平成28年7月～8月

3. 調査内容（後掲）

調 査 結 果

（備わっていると回答した割合 単位：％）

内 容 \ グループ	1 年 生 (36人)	2 年 生 (35人)	専門学校生 (24人)	専門学校生・社会人 (11人)
1 地球的視野に立って行動するための資質能力				
○地球、国家、人間等に関する適切な理解	22	26	38	9
○豊かな人間性	94	94	92	55
○国際社会で必要とされる基本的資質能力	50	34	50	36
2 変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力				
○課題解決能力等に関わるもの	53	51	67	27
○人間関係に関わるもの	61	37	63	45
○社会の変化に適応するための知識及び技能	39	20	21	9
3 教員の職務から必然的に求められる資質能力				
○幼児・児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解	56	31	83	55
○教職に対する愛着、誇り、一体感	72	83	92	82
○教科指導、生徒指導等のための知識、技能及び態度	42	17	67	27

備わっている資質能力について

1. 地球的視野に立って行動するための資質能力

- ・1年生は豊かな人間性が備わっていると回答した割合が最も高く、以下国際社会で必要とされる基本的資質能力、地球、国家、人間等に関する適切な理解の順になっている。
- ・2年生も1年生と同様の順序になっているが、国際社会で必要とされる基本的資質能力が備わっていると回答した割合は、他のグループと比較して一番低い。
- ・専門学校生も同様の順序であるが、地球、国家、人間等に関する適切な理解が他のグループと比較して最も高い。
- ・専門学校生・社会人も同様の順序となっているが、全て他のグループより低い。

○備わっている割合の順序はどのグループも同じである。

○豊かな人間性が備わっていると思っている割合は高いが、地球、国家、人間等に関する適切な理解は備わっていないと思っている割合は非常に低い。

○専門学校生・社会人は、地球、国家、人間等に関する適切な理解が備わっていると回答した割合が極端に低い。

2. 変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力

- ・1年生は人間関係に関わるものが備わっていると回答した割合が最も高く、以下課題解決能力等に関わるもの、社会の変化に適応するための知識及び技能の順になっている。社会の変化に適応するための知識及び技能は他のグループと比較して最も高い。
- ・2年生は課題解決能力等に関わるものが備わっていると回答した割合が最も高く、以下人間関係に関わるもの、社会の変化に適応するための知識及び技能の順になっている。人間関係に関わるものの割合が、他のグループと比較して最も低い。
- ・専門学校生は2年生と同様の順序になっている。課題解決能力等に関わるもの、人間関係に関わるものの備わっている割合は、他のグループと比較して最も高い。
- ・専門学校生・社会人は1年生と同様の順序となっているが、1年生と比較して備わっていると回答した割合がどれも低い。

○社会の変化に適応するための知識及び技能は備わっていると回答した割合が低い。

○専門学校生・社会人は備わっていると回答した割合がどれも低い。

3. 教員の職務から必然的に求められる資質能力

- ・1年生は教職に対する愛着、誇り、一体感が備わっていると回答した割合が最も高く、以下幼児・児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解、教科指導、生徒指導等のための知識、技能及び態度の順序になっている。

- ・2年生も同様の順序であるが、幼児・児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解と教科指導、生徒指導等のための知識、技能及び態度が他のグループと比較して最も低い。
 - ・専門学校生も同様の順序になっているが、全ての内容で他のグループより備わっていると回答した割合が高い。
 - ・専門学校生・社会人も同様の順序となっている。
- 備わっていると回答した順序はどのグループも同じである。
- 教職に対する愛着、誇り、一体感は備わっていると回答している割合が高い。

備わっていないと考えている資質能力について、今後どのように高めていこうと考えているか。

1. 地球的視野に立って行動するための資質能力

(1) 地球、国家、人間等に関する適切な理解

- ・新聞を読む、テレビを見る。
- ・政治、地球、国家にもっと興味を持つ。
- ・ニュースをもっと見る。
- ・社会情勢をしっかり把握する。
- ・人と環境の関係を学ぶ。

(2) 豊かな人間性

- ・ボランティア活動をしていく。
- ・多くの人と出会い話をする。
- ・人のことを考えて行動する。
- ・男女とも一人の人間として見ていけるようにする。
- ・人間を好きになる。

(3) 国際社会で必要とされる基本的資質能力

- ・他国のことに興味をもつ。
- ・価値観を多様にしていく。
- ・視野を広める。
- ・知識を得る。
- ・国際社会で自分に何ができるか考える。

2. 変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力

(1) 課題解決能力等に関わるもの

- ・本をたくさん読む。
- ・様々なことに挑戦する。

- ・自分の引き出しを増やす。
- ・広い視野から物事を捉えられるようにする。
- ・仕事上で経験を積む。

(2) 人間関係に関わるもの

- ・多くの人と関わる。
- ・どんどん人に話しかけていく。
- ・子どもや周りの人の声にもっと耳を傾ける。
- ・グループ活動を増やし話す機会を作る。

(3) 社会の変化に適応するための知識及び技能

- ・英語を勉強する。
- ・外国の人と関わる。
- ・新聞を読む。
- ・自分の良さを人に伝える力を身に付ける。
- ・一般常識を身に付ける。

3. 教員の職務から必然的に求められる資質能力

(1) 幼児・児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解

- ・授業や実習で身に付ける。
- ・教育要領を読む。
- ・仕事に就き学んでいく。

(2) 教職に対する愛着、誇り、一体感

- ・実習で学ぶ。
- ・見本になる先生を見つけて学ぶ。

(3) 教科指導、生徒指導等のための知識、技能及び態度

- ・学習や実習で身に付ける。
- ・本を読む。
- ・実践を通して学ぶ。

○次に、本学2年生に学生生活残り8か月、どんなことに重点を置いて過ごすかを尋ねた。

- ・知識の習得はもちろん、実習やボランティアで経験を一つでも多くし、保育士としてのスキルアップに努める。
- ・豊かな経験や心動かされることに触れたい。
- ・専門的知識を身に付けることはもちろんのこと、ピアノの技術を高める、季節ごとの歌やわらべ

うた、手遊び、折り紙の折り方、手作り玩具、絵本など現場ですぐ使えるものをたくさん覚えたりして、自分の引き出しを多くしたい。

- ・言葉遣いに気を付けたり、落ちているゴミを拾ったり、自分磨きをしたりして社会人としての在り方を学ぶ。
- ・ボランティア活動に参加したり、手作り教材を作ったり、手遊びをたくさん覚えたりして引き出しをたくさん作る。
- ・たくさんの人と話し、コミュニケーション能力が高まるようにする。
- ・実習で知識、技術を高める。

お わ り に

- ・豊かな人間性や教職に対する愛着、誇り、一体感などは、教職を目指す者にとっていつの時代にも必要なものであり基本的なものである。備わっていると回答している割合が高かったことは評価できる。学生はこのことについて、多くの人と関わる、子どもや周りの人の声にもっと耳を傾ける、実習で学ぶ、ボランティア活動をしていくなどさらに身に付けようとして意欲的である。
- ・地球、国家、人間等に関する適切な理解や社会の変化に適応するための知識及び技能は、備わっていると回答した割合が低かった。学生はこれらのことについて新聞を読む、テレビを見る。政治、地球、国家にもっと興味を持つ、ニュースをもっと見る、他国のことに興味を持つ、価値観を多様にしていく、視野を広めるなどに取り組み資質能力を身に付けようとしている。

授業では、例えば環境問題や異文化理解、紛争、テロ、難民問題等今世界で問題になっていることや少子高齢化や福祉問題など我が国で抱えている社会問題についてテーマを持ち、新聞やインターネットなどを活用しながら自ら調べディスカッションし発表していく等の、アクティブ・ラーニングを取り入れていくことが考えられる。このことは課題解決能力、応用力、創造力、論理的思考力などの育成にもつながっていく。

- ・社会の変化に適応するための知識及び技能は、英語を勉強する、外国の人と関わる、自分の良さを人に伝える力を身に付けるなどに取り組み資質能力を身に付けようとしている。
- ・教科指導、生徒指導等のための知識、技能及び態度は、手遊び、折り紙の折り方、手作り玩具、絵本など現場ですぐ使えるものをたくさん覚えたりして、自分の引き出しを多くしたいと考えている。

実践的指導力は、現場で日々研究しながら取り組み力を付けていくことが重要であるが、大学でも教育実習事前指導、実習、教職実践演習等でできるだけ演習を充実させ、現場感覚で実践力を付けておくことが必要である。そして絵本、紙芝居、人形劇、手遊び、ピアノ、製作などこれだけは自信があるというものを身に付けさせ、自分磨きをしっかりさせることが必要である。

有馬知江美氏は、学生時代に学ぶこととして「対話力を身につける」「自分の世界をもつ―保

育者としての個性をみがくことと協働性一「児童文化財を楽しむ」2)ことの3点を挙げている。保育者は人と関わることを中心とする仕事である。自分の思いがなかなか言えない子どもから話を聞き出すことも必要となってくる。地域の人や子ども達と話をすることを通してコミュニケーション能力を身に付けたり、人のことを考え行動できるようになるなど豊かな人間性を身に付けたりする努力をしてほしいものである。そして学びたいものは何かねらいをしっかり持って学生生活を過ごしてもらいたい。そのための支援をしっかりしていくよう取り組みたい。

引 用 文 献

- 1) 教員に求められる資質能力に関する関連答申 2 新たな時代に向けた教員養成の改善方策について(第1次答申)(平成9年7月28日 教育職員養成審議会) p 2 - p 3
- 2) 編集代表 秋田喜代美 編集 西山 薫 菱田隆昭 青木 靖 有馬知江美 小川 史 久保田 力 田中卓也 長嶋和代 野口隆子 箕輪潤子 『今に生きる保育者論』(株)みらい p 68、p 70、p 72

アンケートにご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

参考

調査用紙

教育職員養成審議会は平成9年に「新たな時代に向けた教員養成の改善方策について」第1次答申を出しました。その中で今後特に教員に求められる具体的資質能力の例として下記の内容を挙げています。今の段階で備わっていると思うものに○を付けてください。また備わっていないものは今後どのように高めていこうと思いますか。

内 容	備わっているものに○を付けてください。	備わっていないものは、今後どのように高めていこうと思いますか。
1 地球的視野に立って行動するための資質能力		
○地球、国家、人間等に関する適切な理解 例：地球観、国家観、人間観、個人と地球や国家の関係についての適切な理解、社会・集団における規範意識		
○豊かな人間性 例：人間尊重・人権尊重の精神、男女平等の精神、思いやりの心、ボランティア精神		
○国際社会で必要とされる基本的資質能力 例：考え方や立場の相違を受容し多様な価値観を尊重する態度、国際社会に貢献する態度、自国や地域の歴史・文化を理解し尊重する態度		
2 変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力		
○課題解決能力等に関わるもの 例：個性、感性、創造力、応用力、論理的思考力、課題解決能力、継続的な自己教育力		
○人間関係に関わるもの 例：社会性、対人関係能力、コミュニケーション能力、ネットワーキング能力		
○社会の変化に適応するための知識及び技能 例：自己表現能力（外国語のコミュニケーション能力を含む）、メディア・リテラシー、基礎的なコンピュータ活用能力		
3 教員の職務から必然的に求められる資質能力		
○幼児・児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解 例：幼児・児童・生徒観、教育観（国家における教育の役割についての理解を含む）		
○教職に対する愛着、誇り、一体感 例：教職に対する情熱・使命感、子どもに対する責任感や興味・関心		
○教科指導、生徒指導等のための知識、技能及び態度 例：教職の意義や教員の役割に関する正確な知識、子どもの個性や課題解決能力を生かす能力、子どもを思いやり感情移入できること、カウンセリング・マインド、困難な事態をうまく処理できる能力、地域・家庭との円滑な関係を構築できる能力		

